



かみのかわ

議

会

だより

No.188

令和5年2月



キャンドルナイト —かみのかわ—

目次



- 12月定例会議決事項 P2~3
- 補正予算 P4~5
- 常任委員会審査結果報告 P6~7
- 審議結果一覧 P8
- 常任委員会視察研修報告 P9~10
- 町村議会議員研修会・議員派遣 P11
- 一般質問 P12~17
- 【特集】かみたん教えて!議会のおしごと P18

令和4年 第5回 町議会定例会

令和4年第5回町議会定例会が11月30日～12月9日の10日間の会期で開催され、条例、補正予算等に関する議案について審議を行いました。

※採決の結果については、一覧を8ページに掲載しています。

このようなことを審議しました

承認

◆議案第49号

町長の専決処分の承認を求めることについて（令和4年度上三川町一般会計補正予算（第3号）に関する専決処分）

電力・ガス・食料品等の価格高騰による負担増への対策を講じるため、11月1日付けで行った専決処分を承認しました。

※町長の専決処分とは。

議会の議決すべき事件について、特に緊急を要するため議会を招集する時間的余裕がないことが明らかであると認めるとき、地方公共団体の長（町長）は、その議決すべき事件を処分することができるものです。

議案番号	会計名	補正前の予算額	補正額	補正後の予算額
第49号	一般会計 (補正第3号)	117億8,772万2千円	9,185万4千円	118億7,957万6千円

【内容】

(歳入) 子育て世帯等臨時特別支援事業費の増額

(歳出) 緊急支援給付金事業費の増額など

条例制定等

◆議案第50号

上三川町職員の高齢者等に関する条例の一部改正について

地方公務員法の一部改正に伴い、町職員の高齢者等に関する条例の一部改正について、管理監督職務上限年齢及び定年前再任用短時間勤務制の導入等に関する必要な事項を定めるため、改正するものです。

◆議案第51号

地方公務員法の一部を改正する法律の施行に伴う関係条例の整備に関する条例の制定について

前掲の議案第50号の一部改正に伴い、町職員の高齢者等に関する必要な事項を定めるため、関係条例について所要の改正を行うものです。

◆議案第52号

上三川町職員の高齢者部分休業条例の制定について

前掲の議案第50号の一部改正に伴う職員の高齢者等に関する事項を踏まえ、職員の年齢による諸事情等へ対応し、仕事との両立を支援するための環境整備として町職員の高齢者部分休業に関する必要な事項を定めるため、制定するものです。



審議結果を報告する
小川総務文教常任委員長

◆議案第53号
上三川町議会議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例等の一部改正について

令和4年人事院勧告等に基づき、国家公務員等の給与改定が行われたことを踏まえ、町議会議員及び町長等の期末手当並びに町職員及び給料月額及び勤勉手当を改定するため、関係条例を改正するものです。

◆議案第54号
上三川町土砂等の埋立て等による土壌の汚染及び災害の発生防止に関する条例の一部改正について

近年、近隣市町及び町内で不適正な土砂等の埋立て等の事案が発生していることから、規制の強化を図るため、改正するものです。

◆議案第55号
小山広域保健衛生組合規約の一部変更について

ごみ処理に関する施設、斎場及び火葬場の建設及び管理運営事務を令和5年4月1日から下野市旧石橋町の区域が参入すること、感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律に規定する健康診断に関する事務を小山市及び野木町が独自に実施することに伴い、規約変更協議が必要なため、議会の議決を得るものです。

◆議案第56号
上三川いきいきプラザの指定管理者の指定について

令和4年度末に指定期間が満了するため、改めて指定管理者を指定するものです。

【指定管理者となる団体】
上三川いきいきプラザパートナーズ

【指定期間】

令和5年4月1日～

令和10年3月31日

◆議案第57号
上三川町赤ちゃん誕生祝金条例の一部改正について

支給対象者の支給要件のうち、住所要件をこれまでの「出生の日まで引き続き1年以上」を「出生の日前後を通じて1年以上」に、

併せて申請期限を「6ヶ月」に短縮するため、改正するものです。

◆議案第58号
上三川町児童医療費助成に関する条例の一部改正について

少子化対策及び子育て支援の環境として、児童医療費助成の対象年齢を高校3年生相当まで拡大するため、改正するものです。

◆議案第59号
上三川町水道事業給水条例の一部改正について

民法の一部改正により、水道等のライフラインの設備を設置・使用する目的で、他人の土地や設備を使用するための規定が整備されることに伴い、改正するものです。



審議結果を報告する
海老原産業厚生常任委員長

契約

◆議案第67号

工事請負契約の締結について(庁舎内部改修工事(トイレ等))

役場庁舎内トイレ等の改修工事を行うため、契約を締結するものです。

【契約金額】 1億5873万円

【契約相手】 鈴木屋・東部特定建設工事共同企業体

報告

◆報告第9号

議会の委任による専決処分の報告について(町道に係る事故の和解に関する専決処分)

道路舗装の破損により発生した町道に係る事故について、和解が成立した報告がありました。

※議会の委任による専決処分とは。

議会の権限に属する軽易な事項で、その議決により特に指定したものは、地方公共団体の長(町長)において、専決処分することができるとのことです。

◆補正予算◆

議案番号	会計名	補正前の予算額	補正額	補正後の予算額
第60号	一般会計 (補正第4号)	118億7,957万6千円	17億8,168万5千円	136億6,126万1千円

【内容】

- (歳入) 法人事業税交付金の増額、新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金及び新型コロナウイルスワクチン接種対策費の増額、保育施設等物価高騰対策事業及び子ども・子育て支援交付金の増額、生涯学習・子育て支援複合施設整備事業に係る起債の増額など
- (歳出) オミクロン株対応ワクチン接種費、クリーンパーク茂原に係る負担金、プレミアム商品券事業及びエネルギー価格高騰対策支援金、給食センター施設整備費及び生涯学習・子育て支援複合施設整備費等の増額など

議案番号	会計名	補正前の予算額	補正額	補正後の予算額
第61号	国民健康保険事業 特別会計 (補正第2号)	28億6,373万円	△173万2千円	28億6,199万8千円
第62号	介護保険事業 特別会計 (補正第2号)	25億28万8千円	△359万1千円	24億9,669万7千円
第63号	後期高齢者医療 特別会計 (補正第2号)	3億3,052万2千円	△7万4千円	3億3,044万8千円

【内容】

- (歳入・歳出) 職員の会計間の異動等に伴う職員給与費等の減額

議案番号	会計名	補正前の予算額	補正額	補正後の予算額
第64号	農業集落排水事業 特別会計 (補正第2号)	3億1,600万円	1,711万7千円	3億3,311万7千円

【内容】

- (歳入) 光熱水費の増額に伴う一般会計繰入金の増額など
- (歳出) 光熱水費の増額など



田んぼダムの様子

◆補正予算◆

議案番号	会計名	種別	収支	補正前の予算額	補正額	補正後の予算額
第65号	水道事業会計 (補正第2号)	収益的 収支	収入	6億200万8千円	30万6千円	6億231万4千円
			支出	5億6,913万4千円	2,629万7千円	5億9,543万1千円
		資本的 収支	収入	4,559万2千円	△2,100万円	2,459万2千円
			支出	6億6,538万1千円	△645万1千円	6億5,893万円

【内容】

- (収益的収入) 水道料金減免に伴う水道料金収入の減額及び他会計補助金の増額
(収益的支出) 電気料金の高騰による動力費の増額及び水道料金減免に伴う事務費の増額
(資本的収入) 他会計貸付金償還金の減額
(資本的支出) 職員の会計間の異動に伴う人件費の減額

議案番号	会計名	種別	収支	補正前の予算額	補正額	補正後の予算額
第66号	下水道事業会計 (補正第1号)	収益的 収支	収入	7億9,247万1千円	588万9千円	7億9,836万円
			支出	7億8,634万3千円	588万9千円	7億9,223万2千円
		資本的 収支	収入	7億2,493万1千円	△2,282万3千円	7億210万8千円
			支出	7億8,273万4千円	△2,282万3千円	7億5,991万1千円

【内容】

- (収益的収支) 人件費の支出増に伴う他会計補助金の増額
(収益的支出) 職員の会計間の異動に伴う人件費の増額など
(資本的収支) 他会計借入金償還金の減額に伴う他会計補助金の減額など
(資本的支出) 公共下水道事業と特定環境保全公共下水道事業との事業変更に伴う減額及び他会計借入金償還金の減額

議案番号	会計名	補正前の予算額	補正額	補正後の予算額
第68号	一般会計 (補正第5号)	136億6,126万1千円	2,760万7千円	136億8,886万8千円

【内容】

- (歳入) 出産・子育て応援交付金の増額など
(歳出) 出産・子育て応援交付金の給付に係る事業費の増額

常 任 委 員 会 審 査 結 果 報 告

総務文教常任委員会

【議案第 50 号】上三川町職員の定年等に関する条例の一部改正について

問 定年退職前に退職した場合の一時金等の支給はあるのか。

答 退職手当以外の一時金等の支給はありません。

【議案第 51 号】地方公務員法の一部を改正する法律の施行に伴う関係条例の整備に関する条例の制定について

問 定年延長により職員数が増加した場合、新規採用職員は確保できるのか。

答 60 歳以降の働き方には、通常の常勤職員のほか、定年前再任用短時間勤務や高齢者部分休業取得などがあり、働き方によっては職員定数に含まれないものもあるため、新規採用職員は確保できると考えています。

【議案第 52 号】上三川町職員の高齢者部分休業条例の制定について

問 条例制定の目的は。

答 高齢者部分休業制度は従前からある制度で、定年の引上げ等を踏まえ本町でも職員の加齢による諸事情に対応するため制定するものです。

【議案第 54 号】上三川町土砂等の埋立て等による土壌の汚染及び災害の発生の防止に関する条例の一部改正について

問 周辺住民への説明は。

答 事業者が許可申請前に、周辺住民に対して、事業内容等の説明を行い、意見や質問等があった場合は、必ず回答し、その内容をすべて報告書として町に報告させることとしています。

【議案第 67 号】工事請負契約の締結について（庁舎内部改修工事（トイレ等））

問 総合評価落札方式に関する評価調書における学識経験者の意見聴取はどのようなことを確認するのか。

答 総合評価の価格点以外の評価基準が、適正であるか確認していただいています。

委員会審査結果

議案第 50 号から議案第 52 号まで、及び議案第 55 号は全員賛成により、議案第 54 号及び議案第 67 号は賛成多数により、原案どおり可決いたしました。

産業厚生常任委員会

【議案第 56 号】上三川いきいきプラザの指定管理者の指定について

問 町と上三川いきいきプラザの指定管理者との協定内容に変更はあるか。例えば、30 万円以上の修繕については町が負担するということだが、この金額は変わるのか。

答 協定は今後詳細を詰めることになるが、大幅な変更はない予定です。町が負担する 30 万円以上の修繕は公募要項に記載しているため、額の変更はできません。

【議案第 58 号】上三川町児童医療費助成に関する条例の一部改正について

問 児童医療費助成の対象となる病院は。

答 町内外どこの病院でも保険診療で掛かったものは対象になります。県内は現物給付となるが、県外では制度が違うため、一旦現金で支払っていただき、後日申請により償還払いとなります。

【議案第 59 号】上三川町水道事業給水条例の一部改正について

問 給水装置工事における利害関係人からの同意書又は誓約書の提出は。

答 提出は必須ではありませんが、給水施設が他者の土地を通過する場合又は他者の給水設備を使用する場合には、必要と考えています。

委員会審査結果

議案第 56 号から議案第 59 号まで全員賛成により、原案どおり可決いたしました。



審 議 結 果 一 覧

○…賛成 ×…反対 欠…欠席

議案番号	付 議 事 件	結 果			1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13
		賛 成	反 対	議 決 結 果	田 崎 幸 夫	鶴 見 典 明	篠 塚 啓 一	神 藤 昭 彦	小 川 公 威	志 鳥 勝 則	海 老 原 友 子	石 崎 幸 寛	勝 山 修 輔	田 村 稔	津 野 田 重 一	稲 見 敏 夫	稲 川 洋
第 49 号	町長の専決処分の承認を求めることについて（令和4年度上三川町一般会計補正予算（第3号）に関する専決処分）	12	0	承認	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○
第 50 号	上三川町職員の定年等に関する条例の一部改正について	11	0	可決	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	欠	○
第 51 号	地方公務員法の一部を改正する法律の施行に伴う関係条例の整備に関する条例の制定について	11	0	可決	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	欠	○
第 52 号	上三川町職員の高齢者部分休業条例の制定について	11	0	可決	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	欠	○
第 53 号	上三川町議会議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例等の一部改正について	12	0	可決	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○
第 54 号	上三川町土砂等の埋立て等による土壌の汚染及び災害の発生の防止に関する条例の一部改正について	10	1	可決	○	○	○	○	○	○	○	欠	×	○	○	欠	○
第 55 号	小山広域保健衛生組合格約の一部変更について	11	0	可決	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	欠	○
第 56 号	上三川いきいきプラザの指定管理者の指定について	10	1	可決	○	○	○	○	○	○	○	欠	×	○	○	欠	○
第 57 号	上三川町赤ちゃん誕生祝金条例の一部改正について	11	0	可決	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	欠	○
第 58 号	上三川町児童医療費助成に関する条例の一部改正について	11	0	可決	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	欠	○
第 59 号	上三川町水道事業給水条例の一部改正について	10	1	可決	○	○	○	○	○	○	○	欠	×	○	○	欠	○
第 60 号	令和4年度上三川町一般会計補正予算（第4号）	9	3	可決	○	○	×	○	○	×	○	欠	×	○	○	○	○
第 61 号	令和4年度上三川町国民健康保険事業特別会計補正予算（第2号）	12	0	可決	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○
第 62 号	令和4年度上三川町介護保険事業特別会計補正予算（第2号）	12	0	可決	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○
第 63 号	令和4年度上三川町後期高齢者医療特別会計補正予算（第2号）	12	0	可決	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○
第 64 号	令和4年度上三川町農業集落排水事業特別会計補正予算（第2号）	12	0	可決	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○
第 65 号	令和4年度上三川町水道事業会計補正予算（第2号）	12	0	可決	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○
第 66 号	令和4年度上三川町下水道事業会計補正予算（第1号）	12	0	可決	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○
第 67 号	工事請負契約の締結について（庁舎内部改修工事（トイレ等））	10	1	可決	○	○	○	○	○	○	○	欠	×	○	○	欠	○
第 68 号	令和4年度上三川町一般会計補正予算（第5号）	10	1	可決	○	○	○	○	○	○	○	欠	×	○	○	欠	○

※高橋正昭議長（14番）は、採決に加わりません。

常任委員会視察研修報告

総務文教常任委員会

研修日：11月10日・11日

小中一貫教育について

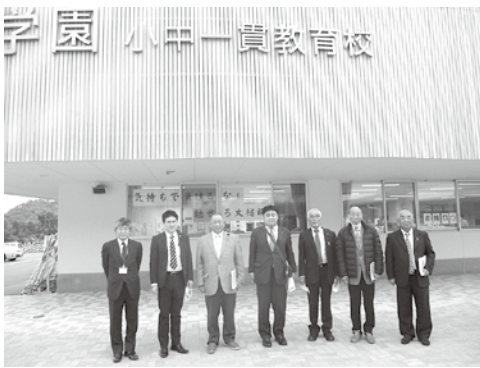
【岩手県大槌町・大槌学園】

大槌町には、施設一体型義務教育学校の「大槌学園」と施設分離型の併設型小中一貫教育校「吉里吉里学園」の2つの異なるタイプの小中一貫教育校が存在し、学校・家庭・地域が協働してそれぞれ特色のある学びが実践されています。

小中一貫教育導入の最大のメリットは、小中学校の9年間を通じた教育課程、指導体制のもと、発達段階を考慮した前期4年のホップ期、中期3年のステップ期、後期2年のジャンプ期の4・3・2制の採用により、中1ギャップ等の段差が小さくなり、きめ細やかに子ども達の成長を見守れるとのことでした。

また、0歳から18歳までの適切かつ一貫した教育支援の必要性が示された「大槌町子どもの学び基本条例」を制定し、小中一貫教育にとどめず、スムーズな幼小接続、中高接続にも取り組んでいることに深く感銘を受けました。

本町でも今後、児童生徒数の減少が予想されることから、これからの子ども達にとって望ましい教育環境はどのようなものか検討していく上で、大変参考になりました。



大槌学園を視察

防災について

【岩手県釜石市】

震災時、釜石市の小中学校に通う子ども達はほぼ全員が避難し、津波を逃れ、「釜石の奇跡」と呼ばれました。これは、釜石市が震災前から「防災教育」に取り組んでおり、子ども達はそれに倣い行動した結果で、奇跡ではないとのことでした。

防災教育を実践するためのプログラムを作成し、児童生徒のみならず、保護者や地域住民の防災の意識向上を図ることから始めたとのことでした。

現在では、小中学校ごとに保護者や地域住民と連携を図りながら避難訓練や引き渡し訓練など様々な取り組みを行っているため、主体的に行動できる子どもを育てるため「いのちの教育」を推進しているとのことでした。

本町でも、2019年の台風19号により甚大な被害を受け、その後様々な対策を講じているところですが、近年の異常気象を考えるとハード面の整備だけでは限界があり、今後は防災教育などのソフト面の整備も重要になると思いますので、大変有意義な視察研修となりました。

委員長 小川公威



担当職員より説明を受けている様子

常任委員会視察研修報告

産業厚生常任委員会

研修日：10月19日・20日

スマホアプリ 「とよのんコンシェルジュ」について

【大阪府豊能町】

高齡化率45%の豊能町は、「誰も取り残されない」の観点から高齡者のスマホ保有率が7割であることに目を向けて、スマホを使い高齡化の課題を解決しようと取組みを開始しています。

取組みとして、アプリの利用につなげるため、①関心を高める、②インセンティブを付与する、③意欲を高める、④サービスを拡充させる、とした動機づけを段階的に行っています。

利用希望者からの相談に答えるための「よつず相談所」を毎週開催し、困りごとの解決に当たっております。

また、スマホ講座も年30回実施し、講座を継続的に実施していくために地域ベンチャーとの連携や、有償ボランティア及び学生にも運営に携わってもらっています。

「とよのんコンシェルジュ」は運用を開始したばかりですが、将来的には「とよのんコンシェルジュ」を基盤にサービスが繋がることで、「町民の生活スタイルを変えるインパクトをつくる」との話を伺いました。

本町でも、アプリを使った高齡者支援の施策が増え、便利な事や楽しい事が広がっていくことを望む研修となりました。



スマホアプリの操作説明を受けている様子

今井町の町並みについて

【奈良県橿原市】

今井町は、重要伝統的建造物群保存地区で、かつて「大和の金は今井に七分」といわれるほど繁栄した町と言われ、現在も500軒もの町家が連なっています。

町並みを保存するため、地区内の建物の修理・修景等を行う場合は、規制・基準がありますが、国等の補助金を利用してあります。

30年以上事業を積み重ねた結果、現在まで390件の修理・修景事業を実施し、明らかな町並みの変化が見られています。

保存事業により地区内の空き家対策においても、学童保育事業、レストランなどへの活用に繋がっています。

「今後も保存事業を進める中で「人の繋がり」を大切にし、次世代の子供たちへの継承をしながら、まちの賑わい・活気を取り戻し地域の活性化に繋がっていききたい」とのことでした。

本町にも国登録有形文化財の生沼家住宅があります。保存しながらも町民の生活の中に息づく文化遺産の使い途を共に考えていきたいと思いをしました。

委員長 海老原友子



今井町の町並み

町村議会議員研修会

研修日：11月22日

栃木県町村議会議長会主催の町村議会議員研修会に参加しました。

大正大学社会学部公共政策学科教授の江藤俊昭氏による『議員報酬・定数・政務活動費を考える意義と手法』「住民自治の根幹」としての議会の作動』についてを議題に、議会における議員のなり手不足問題解消や今後の地方議会のあり方についての向き合い解決していくのかの講話がありました。

なり手不足の要因としては、議会や議員の魅力が住民に伝わらないことや議員報酬の低さなどがあり、自治体の地域力の低下や法律による縛りもあるとのことでした。

解決に向けた取組としては、地域住民への議会や議員への魅力の周知や議員報酬の増額などがあり、チラシや啓発物、オンライン等の手段により、幅広い世代の開拓を積極的に進めていくことや法律の条件緩和の整備等を進めていくことで解消が図れるのではないかとのことでした。

しかし、一朝一夕には達成できない大きな課題であるため、日々の努力の積み重ねが大切であるとのことでした。



研修会に参加した議員

議員派遣

【議会運営委員会・広報委員会視察研修】

○日程 令和5年1月26日・27日

○視察先 愛知県東郷町

○目的 議会運営・改革について

議会だよりのサブタイトル及び愛称の導入について

議会だよりにおける町民参加の企画について

○視察先 東京都東久留米市

○目的 吉澤章氏「折り紙ギャラリー」見学



一般質問

子育て支援・ORIGAMIのまちづくり・ヤングケアラー・遺言書作成サポート・農業振興などを論戦!

一般質問とは・・・

議員が行政全般にわたって執行機関に対し施策の状況や方針などについて説明や報告を求めるもので、重要な議員活動のひとつです。

12月1日・2日 7人の議員が登場

議会の会議録はこちら

議会会議録については、会議の終了後おおむね2ヶ月後に掲載します。



質問順 質問議員	質問事項	質問要旨
1 たさき ゆきお 田崎 幸夫	子育て（医療費）支援について	インフルエンザ予防接種の助成について。
	交通事故防止対策について	中学生の自転車事故防止対策の施策について。
	農業の振興について	上三川町第7次総合計画における、現状の課題への取組み及び施策指標の進捗状況と今後について。
2 つのだ しげいち 津野田 重一	ORIGAMI 会館の構想について	(仮称) 上三川町生涯学習・子育て支援複合施設における生涯学習部門の吉澤章記念室を充実すべきではないか。 施設の名称に「ORIGAMI」を取り込めないか。
	ORIGAMI のまちづくりについて	折り鶴のイラストを道路標識や下水道マンホールの蓋などに入れてはどうか。
3 つるみ のりあき 鶴見 典明	消防・防災体制の充実について	コロナ禍において、消防団活動の活性化に向けた取組みとして安定的な確保、教育、訓練をどのように実施しているのか。 上三川町国土強靱化地域計画において、町の地域防災に取組んでいるが計画に対する進捗状況は、町の取組みは。
	ヤングケアラーについて	ヤングケアラーの支援に向けた対応について福祉・介護・教育の連携をどのように周知し行っているのか、町の取組みは。 ヤングケアラーを支援するラフィングケアラーなどの「こころのケア」についてどのようにサポートし取組んでいるのか、町の取組みは。
	空き家対策の推進について	本町における空き家の状況を把握し適切な維持管理に取組んでいるのか、また、空き家バンクへの積極的な登録に繋げているのか、町の取組みは。 空き家の利活用について、情報の共有を行って計画的に進めているのか、また、どのように支援し取組んでいるのか、町の取組みは。
4 かつやま しゅうすけ 勝山 修輔	町施設の管理とメンテナンス費用について	いきいきプラザの清掃費用についてお聞かせください。 中央公民館も同様に清掃費用についてお聞かせください。 図書館の清掃費用とメンテナンスの年間費用はどのくらいなのか。
	町庁舎の改修について	町庁舎の改修計画は怎么样了かお聞かせください。また、清掃費用もお教え願います。
		庁舎機能の移転計画はどのようになりますかお聞かせください。
		庁舎内に外部団体の庁舎内使用を考える時が来ていると思うが町のお考えをお聞かせください。
	図書館の改修とメンテナンスについて	図書館は5年後位に全面的な改修をすると言っているが、どのような計画かお教え願いたい。
		清掃業務とメンテナンス費用はどのようになっているのかお教え願いたい。

質問順 質問議員	質問事項	質問要旨
5 しのつか けいいち 篠塚 啓一	給食費の滞納について	給食費の滞納に関して、町はどのような対応をしているのか。
	学習用端末の破損・故障について	学習用端末が1人1台配布となったが、落したりなどの事故で破損・故障等の事案はあるのか。またその場合町ではどのような対応をしているのか。 買取またはリースがあると思うが、その保証内容と更新は何年サイクルになっているのか。
	自筆証書遺言作成のサポートについて	終活の一つとして遺言の作成も重要であると考えられるが、町がその作成サポートのセミナーを開催してはどうか。 空き家の中には未相続の土地・建物があり、遺言があることにより、その減少に繋がると思うが、町はどのように考えるか。
6 しどり かつのり 志鳥 勝則	本町の農業の将来について	本町農業の今後、10年後の将来について、町長は、どのように見据えているのか、また、どのような政策の下に生産体制の振興を図っていく考えなのか伺いたい。
	生活道路の整備について	集落内にある未舗装道路（砂利道）の舗装整備について、町の整備方針はどのような考えなのか伺いたい。
7 いなみ としお 稲見 敏夫	町長の町政運営について	上三川町第7次総合計画に掲げた町の将来像「共に創る 次代に輝く 安心・活力のまち 上三川」実現に向けた取組みの成果と将来の展望についてどのように考えているのか。
	農村公園の利用者増を目指す取組みについて	磯川緑地公園内の遊歩道の修繕計画はどのようにになっているのか。
		磯川緑地公園内の遊歩道周辺を整備し人を呼び込む施策が必要と思うが町の考えは。
		水環境神主公園は水生生物や自然と触れ合える公園として整備されたが、十分に活用されていないと思う。学校教育等と連携して活用すべきと思うが町の考えは。
	農業の振興について	農業者・JA・農業公社・町が一体となって協議会を立ち上げ、将来の町の農業振興を図るべきと思うが町の考えは。
任期満了に伴う次期町長選への4選出馬について	4選出馬について町長の考えは。	

議会傍聴のご案内



12月議会は5人の方に傍聴においでいただきました。ありがとうございました。次回の定例会は3月です。傍聴を希望される方は、議会当日、役場4階議会事務局にて受付を済ませ、傍聴券をお受け取りください。

3月議会定例会までの動き(予定)

2月10日(金) 議会運営委員会
2月17日(金) 全員協議会
2月24日(金) 議会運営委員会
2月下旬 議会定例会開会

※会期日程等の詳細は決まり次第、議会ホームページでお知らせいたします。



見
こ
〜
や
〜
!

議会のしくみや会議の結果など、議会の最新情報を掲載しています。ぜひ、ご覧ください！





た さ き ゆ き お
田 崎 幸 夫 議 員

子育て(医療費)支援につ
いて

問 インフルエンザ予防接種の
助成について。

答 町長 お子様は、現在任意
での接種となっております。
インフルエンザの予防接種
は直接感染を防ぐものでは
ないため、まずは手洗いや
うがい、体調管理、人混み
を避けるなどの予防行動を
個人で徹底することが大変
重要と考えています。
一方で、特に乳幼児は、
集団生活の中で自ら感染対
策を徹底することが難しい
ため、予防接種による重症
化予防は大きな意味を持つ
と考えています。2回接種
が推奨されている13歳未満
の児童を持つ子育て世帯の
経済的負担を軽減する視点
も含め、接種費用の一部助
成を検討していきます。

農業の振興について

問 上三川町第7次総合計画※
における、現状の課題への
取組み及び施策指標の進捗
状況と今後について。

答 町長 令和3年3月に策定
した後期基本計画では、大
きく3つの取組みを行って
います。
まず、担い手不足の解消
や生産効率の向上など生産
基盤の強化の取組みを、ま
た、需要に応じた作付けの
推進や、産地間競争に耐え
得る園芸産地づくりなど産
地形成の取組みを、さらに
農地の多面的機能の発揮
や、環境負荷の低減に配慮
した生産方法の導入、及び
地産地消など持続的農業の
展開と農村環境の保全の取
組みを行っています。

今後は、新規就農者の確
保や育成、農地の集積・集
約及びスマート農業※の推
進などによる生産性向上の
ための施策を基本とし、社
会情勢や消費者ニーズの変
化に合わせ、柔軟に対応し
ていきたいと考えています。
※用語の解説を17ページ下
段に掲載しています。



つ の だ し げ い ち
津 野 田 重 一 議 員

ORIGAMI会館の構
想について

問 (仮称)上三川町生涯学習・
子育て支援複合施設におけ
る生涯学習部門の吉澤章記
念室を充実すべきではない
か。

答 町長 計画をしている吉澤
章記念室では、本町出身で
世界的な創作折り紙作家で
ある吉澤章氏より寄贈を受
けた作品等を中心に展示を
考えています。定期的な展
示作品の入替えを行うほか
か、実際の机等を用いて吉
澤章氏のアトリエ風景を再
現するなど、訪れた方が折
り紙を身近に感じ、吉澤章
氏の世界に入り込める空間
を演出し、何度でも記念室
を訪れ、新たな作品に出合
えるようにします。

問 施設の名称に「ORIGAMI」
を取り込めないか。

答 町長 名称は、公募やネー
ミングライツ※を採用す
る方法などが考えられます
が、上三川町らしさや魅力
を発信し、誰からも親しま
れる名称となるよう方法や
条件づけも含めて検討しま
す。

※用語の解説を17ページ下
段に掲載しています。

ORIGAMIのまちづ
くりについて

問 折り鶴のイラストを道路標
識や下水道マンホールの蓋
などに入れてはどうか。

答 町長 ORIGAMIのま
ちの機運醸成や、町外に向
けたPRにつながるため、
対応できるものについては
積極的に導入していくこと
を検討しています。

今後も、ロゴマークなど
を活用しながらORIGAMIの
まちづくりの推進に努
めていきます。



ヤングケアラー※について



のりあき 鶴見 議員

問

ヤングケアラーの支援に向けた対応について福祉・介護・教育の連携をどの様に周知しているのか、町の取組みは。

答

町長 ヤングケアラーの家事や介護などの身体的負担は、福祉サービスの提供により軽減することは可能ですが、「勉強に励む時間が無く授業についていけない」などの心理的な不安や負担は他人に打ち明けることが難しいため、周囲が早期に気付いてあげることが重要であり、併せて子どもが相談しやすい環境づくりや、適切な支援へつなげていくことを強化する必要があります。ヤングケアラーを含む子育てに関する相談は子ども家庭総合支援拠点で受けて

問

いますが、複数の支援機関との連携が必要な事案は、町の要保護児童対策地域協議会と情報を共有し支援方法を協議し、必要に応じた対応を講じています。

答

ヤングケアラーを支援する「まごころのケア」についての様子をサポートし取組んでいるのか、町の取組みは。
町長 子どもの悩みは「自身がどう感じているのか、どうしたいと思っているのか」を一緒に考え、理解・納得しながら支援することが望ましいため、身近な学校の教職員や、スクールソーシャルワーカー(※)などとも連携し、不安感、孤独感など心の負担の解消に向け、子どもに寄り添い、状況の改善と心のケアに努めていきます。
引き続き、町広報紙やホームページ、リーフレットなどを活用して、ヤングケアラーに対する認知度向上のため、周知啓発を行っています。

※用語の解説を17ページ下段に掲載しています。

町施設の管理とメンテナンス費用について



しゅうすけ 勝山 議員

問

いきいきプラザの清掃費用についてお聞かせください。

答

町長 令和3年度の清掃費は、2301万6672円です。

問

中央公民館も同様に清掃費用についてお聞かせください。

答

町長 令和3年度の清掃費用は、134万4918円です。

問

図書館の清掃費用とメンテナンスの年間費用はどのくらいなのか。

答

町長 令和3年度の清掃費用は、249万8210円で、メンテナンス費用は233万2990円です。



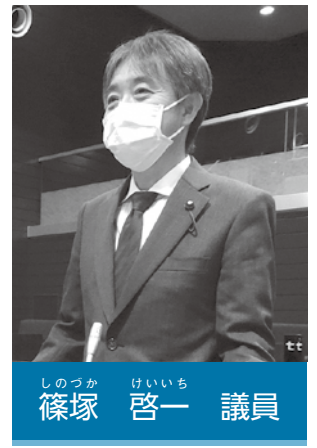
上三川町立図書館



上三川町中央公民館



上三川いきいきプラザ



議員 啓一 篠塚

自筆証書遺言作成のサポートについて

問

終活の一つとして遺言の作成も重要であると考えられるが、町がその作成サポートのセミナーを開催してはどうか。

答

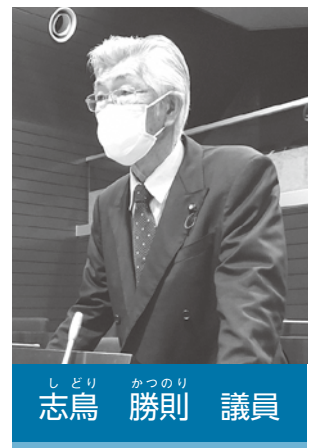
健康福祉課長 遺言は、亡くなられた方の意志を残すために非常に重要な手法であり、資産の相続だけでなく、作成することで気持ちを整理し、残された人生を前向きに生きることにつながることも期待されます。遺言書は、公証人が関与し作成する「公正証書遺言」と、遺言を残す方が自筆で作成する「自筆証書遺言」の2種類があります。自筆証書遺言は比較的安価で、いつでも気軽に作成できるメリットがあるが、法務局は内容に関する助言は行わないことから、有効で

問

ある遺言書を作成するためには、専門的な知識が必要になります。町では本年8月に財産コンサルティングによる相続セミナーを開催し、18名の方に参加をいただきました。皆様の関心の高さを実感したところであり、今後とも同様のセミナーの開催などを検討していきます。

答

健康福祉課長 身寄りがないと思われれる高齢者の方に、お元気なうちに自分の考えを残していただくことは、相続はもとより、亡くなられた際、その方の尊厳を守ることもつながるため、関係機関で連携しながら、各々に合った支援をしていきたいと思えます。



議員 勝則 志鳥

本町の農業の将来について

問

本町農業の今後、10年後の将来について、町長は、どのように見据えているのか、また、どのような政策の下に生産体制の振興を図っていく考えなのか伺いたい。

答

町長 「10年先の農業はどうするべきか」という課題は、私が町長に就任した当時から問題視されてきました。それから10年以上が過ぎた現在、営農集団の結成や農業用機械の高度化、大規模化などにより作業効率や生産性が向上したことから、現在に至るまで農地の利用は確保されてきたものと認識しています。10年後の将来については、農地の集積、集約化を進め、大型機械やスマート

問

生活道路の整備について

集落内にある未舗装道路（砂利道）の舗装整備について、町の整備方針はどのような考えなのか伺いたい。

答

町長 町の道路整備は、限られた予算の中で、公共性及び緊急性等を勘案し、町道に認定された幹線道路や生活道路の、特に通学路の整備を優先して実施しています。地元から舗装等の要望があった場合、交通量、宅地との接道状況、及び道路の損傷等の評価を行い、実施の有無を決定することとしています。



農業^(※)に対応し得る圃場整備を推進するなど、生産体制の振興に努めていきます。
※用語の解説を17ページ下段に掲載しています。



いなみ としお
稲見 敏夫 議員

町長の町政運営について

問

上三川町第7次総合計画※に掲げた町の将来像「共に創る 次代に輝く 安心・活力のまち 上三川」実現に向けた取り組みの成果と将来の展望についてどのようなことを考えているのか。

答

町長 現行の第7次総合計画では「安心安全・定住のまちづくり」「子ども・健康・福祉のまちづくり」「産業・しごと・活力のまちづくり」など8つの基本目標を掲げ、これらの目標を達成するために140を超える事業を実施しました。これらの事業は、町議会議員、金融機関代表者、公募委員から成る総合計画等評価委員会を開催し、事業の評価を行っています。その審査結果、事業の85%がこのまま事業を進めています。

問

答

任期満了に伴う次期町長選への4選出馬について

4選出馬について町長の考えは。

町長 残された任期期間の中で、上三川町第7次総合計画に掲げたまちの将来像「共に創る 次代に輝く 安心・活力のまち 上三川」の実現に向け、町民の皆様への負託に応えることが最優先と考えています。

※用語の解説を17ページ下段に掲載しています。

くべきである。「よりよいまちづくりに貢献してこそ」との評価を頂いていることから、まちづくりには一定の成果があったものと認識しています。一方で、将来の展望については、本町を取り巻く環境が刻々と変化していることから、スピード感と柔軟性をもち、的確に対応していくことが重要と考えています。今後も、一つ一つの課題をクリアしながら、総合計画に掲げた町の将来像の実現に向けて各種施策に取り組んでいきます。

一般質問中の用語の解説

○上三川町第7次総合計画（14ページ田崎議員、17ページ稲見議員）

総合計画とは、町のすべての行政活動の基本となる最上位の行政計画として、まちづくりの原則や町の将来像を実現するための道筋を示すものです。第7次総合計画は平成28年度から令和7年度までの10年間の計画です。

○スマート農業（14ページ田崎議員、16ページ志鳥議員）

ロボット技術や情報通信技術（ICT）を活用して、省力化や高品質生産を実現する新たな農業。

○ネーミングライツ（14ページ津野田議員）

スポーツ施設や文化ホールなどの公共施設の名称に、スポンサーの企業名や商品ブランド名を付与する権利です。自治体は、公共施設の命名権の売却費用を運営費等にあて、経費軽減などのメリットを得る制度です。

○ヤングケアラー（15ページ鶴見議員）

本来大人が担うと想定されている家事や家族の世話などを日常的に行っている子どものこと。

○スクールソーシャルワーカー（15ページ鶴見議員）

問題を抱える児童・生徒を取り巻く環境へ働きかけたり、関係機関等との連携・調整を行ったりする人。

かみたん
教えて!

議会のおしごと

第7弾は…

議会改革検討会について紹介!!



議会改革検討会ではどんなことをしているの？



議会では、議会の活性化、開かれた議会を目指して、平成24年3月に「上三川町議会活性化に向けた改革検討会」を設置し、課題の抽出を行い、月1回座長（副議長）のもと、議員全員で話し合いをしているんだよ。

議会改革検討会には2つの部会があって、議会の改革に関する調査研究、議員の各種審議会、委員会への参画、議会情報の公開・公聴、その他議会の活性化に向けた調査研究を行っているんだ。

これまでの結果は、結果報告書を議会ホームページに掲載しているんだよ。



議会改革検討会の部会ではどんなことをしているの？



第1部会では、議員の品位条例や政治倫理条例の制定等の研究を行っているよ。

第2部会では、議会ホームページの充実、政務活動費の運用方法の見直し、会議における情報機器の活用等の研究を行っているよ。

特に、情報機器の活用として、タブレット端末の導入に向けて、現在準備しているところで、これからは、タブレット端末を使用しながら、会議を行っていくんだ。

編集後記

町議会では、タブレットを導入し、ペーパーレス化を進めることになりました。タブレットの運用が開始されると、通知書類の紙での配付は廃止され、データが送付されることとなります。私たち議員もタブレットを存分に議会や議員としての活動に活かせるように勉強しなければと、改めて身の引き締まる思いです。

このように一歩ずつではありますが、町議会もデジタル化を進めております。

昨今のコロナ禍により、議会への傍聴者の数が、かなり減っており、この議会だよりでしか議会の様子を知って頂く術が無くなっているように思われます。

今後皆様のお手元にあるPC・スマホ・タブレット等でもご覧になって頂けるよりよい議会だよりを作成していきたいと思っております。

(篠塚)

広報委員会

委員長	小川 公威
副委員長	田崎 幸夫
委員	鶴見 典明
	篠塚 啓一
	稲川 洋